

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38133
事業名	図書・情報館運営管理費					
評価担当課	所 属	教)中央図書館 利用サービス課			電話番号	011-208-1113
施策名	－					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外					
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託			○ 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	都心では、仕事やくらしに関する様々な情報の収集や交換など様々な活動が行われており、都心に集う人々を情報面から支援する場が必要となる。また、都の魅力を創出するため、札幌の情報を発信する役割を果たすとともに、都心の知的空間として市民の様々な活動が豊かになるよう多彩な閲覧スペースと利便性の高い設備を備えることが求められる。
	事業内容(何を実施し)	図書・情報館の運営管理を行う。 ①資料7000冊、新聞90種類・雑誌500種類の購入、②札幌の魅力に関する映像を映し出すデジタルサイネージSapporo Windowの保守、③図書館システムの保守、④座席予約システムの保守、⑤1階貸出返却カウンターの業務委託、⑥利用者に対するレファレンスサービス、⑦仕事や暮らしに役立つセミナーの開催、⑧出張相談窓口の運営など。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	・市民の人生の様々な段階(進学、就職、転職、子育て、介護など)で抱える課題の解決について情報面から支援し、誰もが働きやすい、暮らしやすい環境作りに寄与する。 ・市内外に札幌の魅力を発信し、都心のにぎわい・活力維持に寄与する。
	他都市の状況	・千代田図書館…無線・有線LANや電源が使えるコワーキングスペースがある図書館。 ・日比谷図書文化館…図書館・ミュージアム、カレッジが一体となった複合文化施設。 ・武蔵野プレイス…システムを通してインターネットから座席の予約が可能な図書館。 ・新宿区立角筈図書館…ビジネス支援関連図書や起業に役立つ情報を提供する図書館。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☒ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	127,663 千円	うち特定財源	4,161 千円	正規職員業務量	7 人工
令和5年度予算額	129,945 千円	うち特定財源	7,465 千円	正規職員業務量	7 人工
令和5年度決算額	125,410 千円	うち特定財源	4,151 千円	正規職員業務量	7 人工
令和6年度予算額	185,496 千円	うち特定財源	7,520 千円	正規職員業務量	7 人工

指標	アウトプット活動指標1	蔵書冊数(冊)				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
		45,742	45,500	43,815	45,000	43,500	43,000	
	↓							
	アウトカム成果指標1	来館者数				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
		684,279	800,000	786,756	850,000	900,000	950,000	
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	蔵書冊数は適正数の約43千冊に着地した。来館者数は達成率98. 3%と未達となった。新型コロナ5類移行後に来館者数は伸びたがわずかに及ばなかった。各種施策実施により目標達成を目指す。						
	アウトプット活動指標2	調査支援サービスの提供件数(件)				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
		3,070	4,000	3,297	3,600	3,800	4,000	
	↓							
	アウトカム成果指標2	予約席利用数				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
		127,000	139,000	156,000	150,000	160,000	160,000	
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方	調査支援サービスについては行動様式の変化等に伴い目標未達となった。一方で自発的な学びの機会として提供している予約席利用数は目標を大幅に超えることができた。						

今年度の見直し内容	施設、及び各種サービスの利用を促進するため、予約席やサロン空間の運用見直しの検討を図るとともに、広報強化を行う。
来年度以降の方向性	今後も利用者が求める情報に適した選書や、来館のきっかけとなるセミナー開催、社会変化にあわせた適切なサービス提供について実施していく。